

# ふなばし♥あったかばにー

令和6年度 船橋市障害者雇用優良事業所表彰



## 表彰事業所の取り組み紹介

近年、障害のある方の雇用状況は着実に改善されており、本市においては職場実習先の開拓と共に、職場実習を受け入れた事業所に対して奨励金を交付するなど、障害者雇用を推進しています。

その中で、障害のある方を雇用率以上に雇用し、働きやすい環境を作るための工夫や、職場実習の受入れを積極的に行っている事業所などを優良事業所として表彰し、広く公表することにより、これから雇用を考える事業所に具体的な事例を参考にしていただくため、平成26年度より「船橋市障害者雇用優良事業所表彰 ふなばし♥あったかばにー」を実施しております。今年度、応募のあった市内事業所について審査し、5事業所が表彰されました。

令和6年度の障害者雇用状況調査では、従業員40人以上の市内事業所で法定雇用率(2.5%)を達成した企業は43.1%と前年(46.7%)を下回っており、更なる推進が必要と考えられます(令和6年度 千葉労働局による障害者雇用状況調査報告)。

「ふなばし♥あったかばにー」の優れた取り組みをご紹介しますので、今後の障害者雇用の参考にいただければ幸いです。

令和7年1月

船橋市経済部商工振興課

番号	表彰年度	表彰事業所	業 務
1	H26	船橋興産株式会社	廃棄物処理
2	H26	株式会社三和製作所 京葉物流センター	学校保健用品卸
3	H26	株式会社ティーエスケー	総合改修工事
4	H27	社会福祉法人健恒会	介護事業
5	H27	レビー・ケア株式会社	介護事業
6	H27	有限会社キツキサービスステーション	新聞販売
7	H28	株式会社鈴徳 船橋営業所	金属リサイクル
8	H28	三和商事株式会社	保健衛生用品卸
9	H28	株式会社船橋リサイクル	再生資源処理
10	H29	株式会社ホンダベルノ市川	自動車販売整備
11	H29	株式会社日本都市	交通安全工事他
12	H30	有限会社エスエスティー サポートハウスまなび	介護事業
13	H30	株式会社てらお食品	スーパーマーケット
14	H30	株式会社船橋都市サービス	駐車場等の管理・運営関係業務等
15	H30	センコーファッション物流株式会社	道路貨物運送
16	R1	株式会社 ECHIGOYA	建築資材販売
17	R1	株式会社スペースケア	福祉用具レンタル
18	R2	株式会社ヒロハマ 千葉工場	缶パーツ製造
19	R2	医療法人社団弘成会	医療・福祉
20	R3	社会福祉法人観行会 杉の子保育園	乳幼児の保育
21	R3	コントラクト株式会社	職業紹介、物流
22	R3	有限会社草の実工房すずき印刷	印刷、Web制作
23	R3	株式会社ティーエスケー	総合改修工事業
24	R3	社会福祉法人六親会 養護老人ホーム豊寿園	高齢者介護施設運営
25	R4	株式会社ホエル	コンビニエンスストア経営
26	R4	株式会社杉本正文堂	事務用品・事務機器販売
27	R5	公益社団法人船橋市清美公社	廃棄物処理、し尿及び下水道施設等の管理
28	R5	株式会社 K.U.S. ロジスティクス・サポート	一般貨物運送業・倉庫業
29	R5	株式会社タカネ電業	電気工事業
30	R5	羽田タートルサービス株式会社 千葉支店	物流事業、空港事業

※表彰制度については、船橋市ホームページをご覧ください。 ※本文中の数字は、令和6年10月1日時点のものです。

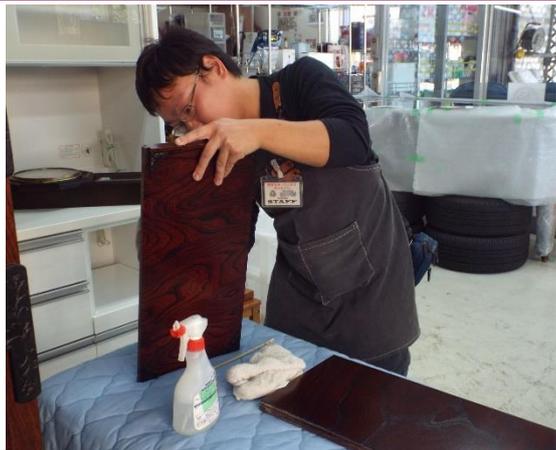


船橋市経済部商工振興課経営労政係

TEL 047-436-2477

FAX 047-436-2466

# 株式会社東照



## リサイクルショップを会社組織に

株式会社東照は平成22年創業。代表取締役の滝口雅和さんが平成13年から個人経営していたリサイクルショップ「ビッグワン」を会社組織にしたものです。

役員は滝口さんと弟の隆さん、4人の正社員の他に、外国の方を含むアルバイトスタッフ9人で店舗を運営しています。

## 障害のある方にお願ひできる仕事

滝口さんには障害のある子供を持つ知合いがあり、「将来どう暮らしていくのが幸せだろう」と考えた時、自社での障害者雇用に思い至りました。リサイクルショップでは、買取った商品の清掃やメンテナンス、接客、事務などの仕事があり、「障害のある方でもお願いできる仕事があるだろう」と思ったのです。

## ほめて「やる気」を育てる

しかし、働きたいと思っ  
ている障害のある方とはどこ  
に行けば出会えるのか、障害  
者雇用についての相談はど  
こで受けてくれるのか全く  
分からず、自分で調べたり問  
合せをしたりしました。

そして、障害者職業センタ  
ーやハローワークから教  
えられた障害者就業・生活  
支援センターで、事業主相談  
をすることができました。

更に、就労に向けて障害の  
ある方が訓練している就労  
支援機関を知り、職場実習の  
受入れを始めることができ  
ました。

こうして、これまでに数人  
に数日間の職場実習として  
来てもらい、令和6年2月に宮嶋優  
樹さんを採用することになりまし  
た。

## 生活面も気にかけてフォロー

宮嶋さんは、アルバイトとして採  
用されましたが、1ヶ月ほどで「疲  
れたまると滝口さんに相談。滝口さ  
んは、休憩をこまめに取ることがで  
きるよう調整しました。

その配慮に添えて宮嶋さんは日々、  
仕事を覚えて従事し、採用から6ヶ  
月で念願の正社員になることができ  
ました。

滝口さんは、宮嶋さんが会社近く



と食べている？」などと声をかける  
他、通院が必要な時には医師や家族  
に連絡を取ったりするなど、生活面  
でのフォローもしています。

## 実習などで障害への理解を深める

「これまで数回の実習受入れで、ひ  
とことで『障害』と言っても人それぞ  
れだとわかりました」と滝口さんは  
言います。一緒に働いたのはほとん  
どが知的障害のある方たちですが、  
それ以前は「知的障害のある方は一  
つの作業に集中することが向いてい  
る」と思っていました。しかし、実際  
にはそういう方ばかりではなく、い  
ろいろな仕事を任せる方が集中力が  
続いて能力を発揮することができ  
る方もいて、「特性によって人それぞ  
れだ」と実感したのです。

宮嶋さんも後者のタイプで、「仕事  
の覚えは早いのでテンションが下が  
らないよう、いくつかの仕事をお願  
ひしています(滝口さん)

宮嶋さんは、「得意なのは、冷蔵庫  
の洗浄。パーツを取り外して洗い、き

れいになると気持ちがいいです」と  
話します。

## 「楽しく働いてほしいです」

どの従業員にも「楽しく働いても  
らいたい」という滝口さんの方針で、  
お互いに声を掛合い、店には和気あ  
いあいとした雰囲気があります。宮  
嶋さんへの声掛けに関しても、否定  
する言葉は使わず、ほめてやる気を  
保つことができるようにしています。  
今後も実習や雇用を進めたいと考  
え、従業員である隆さんの妻が企業  
在籍型ジョブコーチの研修を受け、  
対応ができるようにしました。

「宮嶋さんには『障害があります』  
と言う名札をつけてもらい、難しい  
接客を避ける一方で、お客さんに『障  
害のある方と働く職場だ』と理解し  
てもらえるようにしています(滝口  
さん)。  
規模の小さい会社だからこそ、細  
かい配慮があり働きやすい職場にな  
っています。



代表取締役 滝口雅和さん(右)と、  
滝口 隆さん(左)、宮嶋優樹さん(中央)

所在地:船橋市三咲  
業種:家電家具などの中古販売、  
リサイクルショップ  
従業員:13人  
障害者:1人



- ★ 仕事面だけではなく、生活面にも目が行き届いている。
- ★ 障害者雇用を当然のことにしていく取組みに好感が持てる。

審査委員の  
評価ポイント

# 株式会社ラダー



## 障害のある方も高齢者も活躍を

梶さんの心の中には、以前に店で

代表取締役の梶 真佐巳さんは、平成23年に発生した東日本大震災の翌日、早朝開店したドトールコーヒーショップ船橋駅南口店に多くの人が温もりを求めて訪れたことをきっかけに、コーヒーショップの地域における必要性を考えました。平成27年に店の面積を広げ、令和4年に、より多くの人々に安らぎの場を提供するため、リニューアルをしました。

昭和50年に設立された株式会社ラダーは、平成15年にドトールコーヒーショップのフランチャイズ店「船橋駅南口店」をオープンしました。現在は、「カフェコロラド 幕張ベイタウン店（千葉市美浜区）」との2店舗を運営しています。

## 「コーヒーショップのフランチャイズ

## 心の温まる場所を作る



シヨップの仕事を体験したい方の実習を受入れました。害者支援施設から、コーヒーショップの仕事を体験したい方の実習を受入れました。

経験したできごとが残っています。障害のある子供を連れて親が来店した時のこと。子供が興奮して声を上げると近くにいた客が「迷惑だ」と言いました。親は「すみません、すみません」と謝ります。別の客が「ああいふ親子に利用させる店の方針が疑問だ」と苦情を言いました。「他のお客様のご迷惑になるので」と親子に声をかけた梶さんでしたが、「障害のある方が利用することが『悪』だと思われる状況はおかしいのでは」と感じました。

そして店をリニューアルする際、障害のある方や高齢者が安心して利用できる、さらに働いて活躍できる店にしたいと強く思いました。

まず、高齢者施設の入居者を有償ボランティアとして受入れ、施設職員の同行のもと、一日1時間から、店内の清掃などを依頼しました。そして特別支援学校や障害者支援施設から、コーヒーショップの仕事を体験したい方の実習を受入れました。

## 経験したできごとが残っています。

## リフレックスできる環境で繰り返し

初めて特別支援学校から実習に来た出口剣伍さんは、人前に立つ緊張から、注文内容の理解が難しくなります。それでも3回の実習で「働きたい」「意欲を感じ一生懸命学ぼうとする姿勢を評価し、会社として初めての障害者雇用につながりました。

出口さんは就職して間もなく1年。食器洗浄から始まり、店内のテーブル拭き、フード商品の準備、ドリンクを作って提供するまでになりました。リラククスできる環境でスタッフが根気よく繰り返し教えることで、自信をつけ、手順を覚えたのです。「事前に『起こり得る状況』を説明することも、不安の軽減につながっていると思います」(梶さん)。

そして、入社後半年の査定で社内規定のランクをアップすることができ、時給も上がりました。このことは出口さんの励みになり、ますます仕事に集中するようになりました。

## 職場実習は学びの機会

出口さんの後輩など、数人がこの店で職場実習をしました。このことは出口さんにとって「後輩に手本を見せる」張合いになっています。また、実習に来る後輩にとっても、先輩の働く姿を見て「働く」イメージを持つことができる、様子を見ている梶さんは感じています。

さらに、「継続的に職場実習を受け

ているので、スタッフにとっても障害のある方と働くいい機会になります。接し方を経験して、接客に活かしてくれています」(梶さん)。

## 経済団体や支援機関とのつながり

梶さんは、障害のある方が働けることができる店を構想した頃から、所属する経済団体で知り合った経営者たちと情報交換をしてきました。また、福祉支援機関や行政なども積極的に関わるようにし、サポートを受けたり新しい事業に取組んだりするようになりました。

「カフェで働きたいと思っている障害のある方のため、スキルを身に付ける場(就労移行支援事業所)の運営にも協力しています。出口さんを見ていると、『障害があるからできない』と決めつけることはできないと思います」という梶さんは、会社のテーマを「こころあたたまるコーヒー」を「こころあたたまるコーヒー」を「こころあたたまるコーヒー」として目指すこと」として目指すことと



代表取締役 梶 真佐巳さん(左)、  
出口 剣伍さん

所在地: 船橋市宮本  
業種: 飲食業  
従業員: 62人  
障害者: 1人



## 審査委員の 評価ポイント

- ★ 障害の有無に関わらず個人の状況・特性に配慮し、だれもが働きやすい。
- ★ 協力し合える外部組織の存在を意識して、取組みを続けている。

# 社会福祉法人健恒会



## 平成15年から介護施設の運営

社会福祉法人健恒会は、歯科医である細野隆也さん(理事長)が平成14年に設立、翌年、特別養護老人ホーム「船橋健恒会ケアセンター」(東館)を開設しました。「健康寿命は健康から」を信念に、歯科医と連携した口腔ケアを重点的に行っている介護老人保健施設です。利用者、家族、施設職員による三者一体の介護、個性尊重の介護、地域に根差した介護を行うことを方針としています。現在はショートステイ、デイサービスセンターの運営と、船橋市の在宅介護支援センターを受託しています。

## 介護サポートスタッフで雇用

障害者雇用に取り組み始めたのは平成16年で、障害者就業・生活支援センターの紹介で重度知的障害のある方を採用し、介護サポートスタッフとしてリネン関係や居室清掃など、

## 日々の様子をよく確認する



介護職員が介護職に専念できるようにサポートをお願いしました。さらに2年後に知的障害のある方を採用し、ふたりとも長年働いています。

法人本部人事係主任の鹿山美奈さんは、「いつも丁寧な作業してくれ、なくてはならない存在。長年の勤務に感謝しています」と言います。

ふたりの業務指導は設備係主任の井出英作さんが担当しています。「長年同じ仕事を

してくれているので仕事の手順はよくわかっていきますし、曜日によって違う仕事も理解しています。彼らの朝の様子を見ながら、その日の具体的な指示をしています(井出さん)。

最初に採用された方は時間の使い方を感じてしまう面があるため、一日の業務を効率よく行うことができるようそれぞれの作業に目標時間を設定し、振り返りを行いながら達成に向けて努力しています。また、もう一人の方は新しい仕事を覚えるのに意欲的で、「シーツ交換などベツ

ド清掃は他のスタッフより手早く、一台9分で仕上げるほど極めています(井出さん)。最近では消耗品の在庫確認も志願して担当しています。

## 時間をかけて対応を見つけた

しかし、現在のように対応できるようにするには時間がかかりました。少しずつ仕事を増やしたり、つまづいた時には最初から説明をしたり、井出さんたちは試行錯誤をしました。

施設で働く職員もふたりが一生懸命働く姿を長く見てきて、「仲間」として、障害の有無に関わらず接するようになりました。「ふたりとも真面目で欠勤することはありません。そんな姿が職員にもいい影響を与えるでしょう(鹿山さん)。

## 新たな雇用の受入れ

昨年、新たに採用した身体障害者左下肢のある方は、事務補助として働いています。採用時には体への負担を考え、本人の希望で週20〜30時間の短時間勤務でしたが、9ヶ月後にフルタイム勤務になりました。

車で通勤していますが、「渋滞にあつて遅刻したり、気をもんで体調が悪くなったりするのが心配」という本人の話を考慮し、出勤時間を遅くする配慮もしています。

## 定着を次につなげる工夫

最初に採用された方は、「最初は思

うように作業ができないこともありましたが、がんばって慣れました。入居している方に『気を付けて帰ってね』と声を掛けられるとうれしい」と言います。高い所の清掃に踏み台を活用するなど工夫しています。

もう一人の介護補助の方は、「仕事は楽しいし施設の方たちもいい人ばかり。給料で『男はつらいよ』のDVDを買います」と話してくれました。

最近、法人では「文字や写真より動画の方が理解しやすい」と考え、働いている障害のある方をモデルに、作業マニュアルの動画を作り、今後の雇用や職場実習に生かすなど、新たな取り組みも始めています。

また、こういった活動が評価され、令和6年に厚生労働省が実施する「障害者雇用に関する優良な中小事業主に対する認定制度(もにす認定)」を受けました。「法人だけではなく職員のがんばりと支援機関の協力・指導、家族との三者一体で取り組んだ結果です(鹿山さん)。

※平成27年度にも表彰を受賞



人事係主任 鹿山美奈さん(左)、設備係主任 井出英作さん

所在地: 船橋市金杉町  
業種: 介護老人福祉施設運営  
従業員: 92人(実人数)  
障害者: 3人

- ★ 長く定着して働くことができる体制ができている。
- ★ 職場の担当者と障害のある方のコミュニケーションがよく取れている。



審査委員の  
評価ポイント

# 株式会社マミーマート 生鮮市場TOP 船橋日大前店

大企業



## 地域で一番買い物しやすい店

株式会社マミーマート(本社)埼玉県さいたま市)は昭和40年創業、埼玉県、千葉県、東京都、栃木県、群馬県でスーパーマーケットを80店舗、運営しています。

「生鮮市場TOP 船橋日大前店」は平成19年に「マミーマート 船橋日大前店」としてオープンし、令和5年に現在の店舗にリニューアルしました。

「地域で一番買い物しやすい店舗づくり」を目指す同社では、従業員に關しても多様な人材の育成や多様な働き方の推進をしています。

## 特別支援学校から実習を経て

こちらの店舗では、現在障害のある方が3人働いています。平成26年

採用の知的障害のある方、令和2年採用の重度知的障害のある方、そして令和6年採用の精神障害のある方です。

いづれも、特別支援学校在学中に数回の職場実習を経て採用になりました。本社人事部の金子慶太さんは、

「特別支援学校の他に就労支援機関やハローワークから実習希望の連絡があります。自宅に近い3店舗を挙げてもらい、受入れできるかの確認をして実習してもらいます」と話します。「千葉県の特別支援学校はネットワークを作っており、窓口校が希望をまとめてくれるので助かっています(金子さん)。

## 必要な配慮を欠かさない

現在の店長である太幡博さんは今年着任したばかりですが、これまでに障害のある方と働いた経験があり、「前任の店長から引継ぎもされているので、特に心配なことはありません」と言います。また、3人が卒業した特別支援学校からも、時々教諭が巡回に来るので、気になることがあれば確認することができます。

## 声掛けや面談を大切に

実習では働く様子を店長らが確認し、実習後に本人がこの店で働きたいと希望する場合は、本社での面談で



採否を決定します。その際、勤務時間や仕事の内容などを決め、配慮してほしいことなども確認します。なお、その内容は変更可能であり、半年ごとの契約更新のための面談の他、店長や副店長、部門のチーフが日頃の様子を見ながら声掛けをしたり面談をしたりして、本人の話をよく聞いて調整します。

こちらの店舗では、青果の袋詰めや品出しをしていた知的障害のある方から「狭い空間で作業をすると疲れが出るようになった」と話があり、カート回収と品出しを担当してもらうよう変更しました。

店長の太幡さんは、「本人をよく知って話をするので、必要な配慮を欠かさないよう心掛けています」と話します。

## 本社と情報を共有する

障害の有無に関わらず、従業員の实習や採用後の対応は、店長判断で行われています。

こういった対応の他、例えば来店客の対応についても、情報は迅速に本社人事部に伝えられ、共有されます。「対応をノウハウとして蓄積し、活かしています。トラブルなどがあればすぐに報告があり、必要であれば

ば人事部が店舗に出向いて解決をします。早期解決することで、従業員が安心して働くことができ、お客様も安心して利用いただくことができる店舗になります(金子さん)。

## 多様な人材を育成する

「障害者雇用は半数以上の店舗で行っており、会社全体の障害者雇用率4.7%を超えています。規模の大きい店舗では、5〜6人の障害のある方が働いています。障害のある方だけではなく、様々な背景のある方が活躍できるようにしていきたいと考えています(金子さん)。

また、会社として活動を支援している「日本補助犬協会の「補助犬ガイド士育成講座 心のバリアフリー検定」を、全店長らが受講し、様々な特性や考え方を身につけた相互理解を深めました。これにより、従業員や来店客とのコミュニケーションを深め、より一層、障害のある方への理解を促進できるようになりました。



店長 太幡 博さん(右)、  
本社人事部 金子慶太さん

所在地: 船橋市坪井東  
業種: 食品スーパーマーケット  
従業員: 104人(法人全体2,848人)(実人数)  
障害者: 3人(法人全体134人)

審査委員の  
評価ポイント

- ★ 継続して職場実習や雇用を受入れている。
- ★ 障害のある方を含め、安心して働く環境を整えている。





## 明治時代からつながる会社

ビールをはじめとする酒類の製造・販売で知られるサッポロビール株式会社(本社||東京都渋谷区恵比寿)は、明治政府の北海道開拓使による「開拓使麦酒醸造所」に起源があります。現在の会社は平成15年にグループが持ち株会社制に再編された折りに酒類事業を継承したもので、その年を設立年としています。

千葉工場は昭和63年に竣工しました。首都圏一都六県の需要を賄う主力工場です。「ビヤレストラン」「千葉ビール園」は観光施設として人気があります。

## 15年程前から障害者雇用

会社として障害者雇用に取組み始めたのは、今から15年程前になりました。「当時は、身体障害のある方を中

## 得意な部分を仕事に活かす

心に採用をし、千葉工場でもハローワークに求人を出したりエージェントを利用したりして、ふたりの障害のある方を採用しました」と話すのは、千葉工場総務部リーダーの人見章さんです。

この時に採用されたふたりは現在も総務部に所属して働いています。大橋 幸さんは、学生時代からバスケットボールをしていましたが、自身の免疫で関節を壊してしまいうりウマチを発症。手の関節に障害が出たためフットサルに転向し、その後、脚にも障害が表れて自身のペースでできるゴルフをするようになった、根っからのスポーツ好き。以前はスポーツショップでスポーツプログラマーの知識を生かして働いていました。「症状がひどいところは寝たきりでしたが、リハビリで回復したので、皆さんを明るく楽しくすることができると思い、サッポロビールの求人に応募しました(大橋さん)。

## 得意を活かし苦手を助ける

大橋さんは、前職の経験もあり、健康分野の知識が豊富です。「少しでも皆が健康に過ごせ、退職後もビールを楽しんでもらえるように」と、社員の健康診断の結果を社員に伝え、ス

トレス解消や健康に役立つ施策を検討・実施しています。一方で、指の関節や手首を動かさずらく、パソコンのタイピングなどが苦手ですが、「できないことは周りに手助けを求めますし、仲間から声をかけてくれることもあります(大橋さん)。

また、もうひとり大橋さんと同時に入社した方は視覚障害(視野狭窄)があります。ふたりとも体調によりテレワークをすることもありますが、大橋さんは「けがや加齢により、補助具が必要になると会社に提案して、階段には手すり、更衣室に長椅子、ドアノブをレバーに変えるなど改善してもらいました」と言います。また視野狭窄のある方は、仕事効率を考えサブモニターの導入を依頼し、現在では障害のない社員もサブモニターを使うようになりました。

## 資格取得でキャリアアップ

人見さんは20年前にメンタル不調から精神疾患を発症。平成30年に精神保健福祉手帳を取得しました。総務の仕事に就いて8年、千葉工場には約1年の勤務です。「自身の経験を仕事に活かそうとメンタルヘルスに興味を持ち、メンタルヘルスマネジメント検定1種の資格を取りました(人見さん)。

資格取得に対しては会社からキャリアアップのための一部費用負担があり、仕事に関係のある勉強や資格

取得を目指す人もいます。大橋さんも令和6年にメンタルヘルスマネジメント検定2種を取得しました。

## 障害のある方たちと交流

千葉工場では、障害者生活介護事業所に事務作業の一部を委託したり、就労継続支援B型事業所に植栽の手入れを頼んだりしています。

また、障害者ゴルフ大会に協賛していて、障害の有無に関わらず社員は当日の運営に参加し、障害のある方と接する機会を持つことで、理解を進めることができます。

会社として、障害のある学生の新卒採用への取組みを始めており、「仕事は限定せず、聴覚障害のある方にはオンライン字幕などを用意しています。個々の特性を理解して接するよう心掛けています」と、副工場長兼総務部長の武藤大介さんは言います。

※健康維持を目的に運動する人に、スポーツ医学とスポーツ科学の見地から運動の指導を行う資格。



総務部リーダー 人見 章さん(左)、  
総務部 大橋 幸さん

所在地: 船橋市高瀬町  
業 種: ビール、清涼飲料水製造  
従業員: 120人(法人全体2,434人)(実人数)  
障害者: 3人(法人全体60人)

- ★ 直接業務以外でも障害のある方が働く施設等に業務発注などしている。
- ★ 現在の取組みへの評価に加え、学生へのアプローチなど今後も期待できる。

審査委員の  
評価ポイント